

授業科目名・形態	老年看護方法論Ⅱ	演習	必修・選択の別	必修
担当者氏名	檜原登志子・小玉光子・芳賀邦子	開講期	2年後期	単位数 1

【授業の主題】

疾病や障害による健康レベル別に、検査・治療への対応、認知症やうつのような高齢者に特有な問題、終末期に求められる複雑な問題を理解し、情報の収集・アセスメント・生活目標型の計画立案の看護過程を学び、高齢者が今まで生きてきたその人らしさを生かした生活支援の看護を学ぶ。医療施設・福祉施設の看護を学び、高齢者と家族に対してのソーシャルサポートとチームケアを理解する。今後重要となる高齢者の医療安全と災害看護のリスクマネジメントを学ぶ。

【到達目標】

1. 高齢者の健康レベルや生活困難を理解し、情報の収集・アセスメント・生活目標思考型の立案の看護過程ができる。
2. 高齢者のその人らしさを生かした生活支援の看護を理解できる。
3. 医療施設・福祉施設の看護、高齢者とその家族に対してのソーシャルサポートとチームケアを理解できる。
4. 高齢者の医療安全と災害看護のリスクマネジメントについて理解できる。

【授業計画・内容】

第1回	医療施設入院における看護・福祉施設入所における看護の違い	(檜原)
第2回	褥瘡予防の基礎知識とアセスメントの各種スケール	(小玉)
第3回	褥瘡予防のケア・ポジショニング	(小玉)
第4回	褥瘡ケア・ストマ周囲のスキンケア	(小玉)
第5回	治療に関するマネジメントとケアの技法 ①外来治療、検査と看護ケア (医療的ケア：胃ろう・吸引) ②栄養ケアマネジメントと各種アセスメント尺度	(檜原)
第6回	〃 ③薬物療法と看護ケア	(檜原)
第7回	高齢者に特徴的な手術 ④手術療法と看護ケア	(芳賀)
第8回	疾患を持つ高齢者への看護ケア パーキンソン病・肺炎・骨粗鬆症・骨折	(芳賀)
第9回	高齢者施設・病院関連感染 (HAI) ノロウイルス・インフルエンザ・結核・疥癬	(芳賀)
第10回	認知機能障害に対する看護ケア せん妄・うつ・MC I (軽度認知障害)	(檜原)
第11回	〃 認知症の基礎知識・発症の仕組み・型別の病態とアセスメントの各種スケール	(檜原)
第12回	〃 認知症状態別のケア・家族支援・認知症の社会資源	(檜原)
第13回	終末期における看護ケア 看取りケア	(芳賀)
第14回	高齢者のリスクマネジメント 医療安全 ・災害看護 救急救命	(檜原)
第15回	演習：事例による看護過程の展開/ 老年看護学福祉実習前学習	(檜原)

【授業実施方法】

講義形式。必要に応じて (高齢者の立場に立って生活状況を考えるケア者になる為に、事例の視聴覚教材) 等を視聴して、状況を洞察し思考する。

【授業準備】

授業で配布する資料や教科書で復習をし、理解を深めてください。

【主な関連する科目】

「老年看護学概論」「老年看護学方法論Ⅰ」「病態治療学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ (精神科)」「リハビリテーションと看護」

【教科書等】

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 第8版、医学書院、2017
 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 第4版、医学書院、2017

【参考文献】

ナーシング グラフィカ 26「高齢者の健康と障害」、27「老年看護の実践」、メディカ出版、2017
 山田律子他編：生活機能から見た老年看護過程+病態・生活機能関連図、第1版、医学書院、2012/2015
 亀井智子編集：根拠と事故防止からみた老年看護技術、第1版、医学書院、2012/2014、第2版、2016

【成績評価方法】

筆記試験 85%、課題学習レポート提出 10%、出席状況 (授業態度含む) 5% の総合評価とする。

【学生へのメッセージ】

高齢者の生活機能のアセスメントによる看護展開は、情報収集・分析・解釈と根拠のある看護方法の実践を学習します。